二中の木

学校報
第５号
H28/06/30

能代市立
能代第二中学校
TEL52-5138

部活動での経験を生かす」とは？
～夏季総体予選大会を終えて～

外での競技は比較的天候にも恵まれ、屋内での競技と併せて18日、19日の両日に全県夏季総体予選大会を終えました。結果の詳細については、平成28年6月23日付け 第65回秋田県総合体育大会能代市予選大会の結果について」（全校配布）をご参照ください。

ところで・・・、

激励会で話したこと

大会前日の17日（金）には、照明取り付け工事のために片面しか使えない悪条件ではありましたが、30名程の保護者が見守る中、激励会が行われました。

やる気にみなぎった３年生の明るい表情がとても印象に残った激励会となりました。

激励会では、およそ次のような内容で話しました。「3年生にとって、二年と三ヶ月の部活動の期間で一番思い出に残っていることはどんなことですか？自分で選んだ部活動に緊張しながら初めて参加した時ですか。選手として競技やゲームに参加するために初めてユニフォームの袖に手を通した時でしょうか。たくさんの部活動の中から、これだと決めて始めたのは自分。勝ち進んだにせよ、いつかは中学校の部活動に幕を下ろさなければなりません。幕を下ろすのも自分です。始める時の意気込みや勢いは誰でもが持てそうな気がします。しかし、大切なのは幕の下ろし方。自分で始めたことをどんな形で終わらせるかだと思うのです。そのことが将来のあなたにとって大切な意味を持つことになると考えています。」

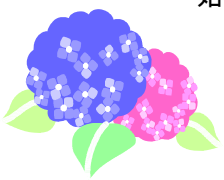
どんな終え方でしたか？

幸いにして、全県大会へと駒を進めることが出来たチームや個人の皆さんには、心からお祝いを言わせてもらいます。次に備えて練習にも熱が入っていることだと思います。

残念ながら中学校での部活動を終えることになってしまった皆さん、どんな幕の下ろし方が出来たでしょうか？敗れたことに強い後悔を抱くのであれば、それもよいでしょう。この先（例えば高校）でも中学校で選んで始めた部活動を続け、人よりも多くのものを得てやろうと頑張ればいいのです。

敗れても悔いなく力を出し切った、友達と励まし合って続けられた部活動に満足したという形で終えるのもよいでしょう。満足は、次のステップをより強く踏み出すための自信となります。

中学校での部活動を始めた時の、あの『熱』さえ忘れていなければ、あなた方の将来には、あなた方を応援しようという人が必ず表れます。あの『熱』さえ忘れなければ、行く手に立ちふさがるものがあったとしても、突然に部活動で得た何かが輝き出し、進む方向を照らしてくれます。経験が生かされる時が必ずやってくるのです。



讃えよ、二中魂！

応援してくださった全校生徒の皆さんへ感謝の気持ちをお伝えしたく、本来ならば直接お礼を述べるべきところですが・・。二中野球部は今大会でおわかりのように確かに強くなりました。最後の最後まで諦めず速球を捉えようとする姿は不撓不屈そのものでした。優勝こそ逃しはしましたが、晴れ晴れとした表情からやりきった感が伝わって来ましたし、保護者も清々しいも気持ちで一杯です。メガホンを使って一人一人に声掛けをしてくださった先生方、吹奏楽部の皆さん、応援団の皆さん、試合後に駆け付けてくれた各部の選手や保護者の方々、途切れずエールを送り続けてくれた生徒有志の皆さんのお陰で準優勝という結果で幕を下ろすことが出来ました。暑い中、全力で応援してくれた全校生徒のみなさんの自主・不屈・友愛に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

親の会　（一部編集）

無断で掲載したことをお許しください。今回は、文化部の皆さんの応援の素晴らしさに感動した総体でもありました。野球部の皆さんが、大会前に吹奏楽部の皆さんに 応援でお世話になります。」とあいさつをしていました。

いつまでも、応援し応援される二中生でありたいですね。

【終】